

発行 放送大学同窓会
編集 神奈川学習センター支部
責任者 総務委員会
発行日 大貫京子
平成5年8月28日

波 濤

第四回支部総会開催

第四回支部総会報告（会則四章第十四条による会員への通知）

去る五月三十日（日）、放送大学同窓会神奈川学習センター支部第四回総会（通常）が、大岡地区センターにて開催されました。

近藤武士氏の司会により、加藤あいし会長の挨拶の後、八件の議案が報告・提案され、質疑応答を経て採決が行なわれ、いずれも原案通り可決・承認されました。

日時 平成五年五月三十日
午後二時三十分～四分
場所 横浜・大岡地区センター
出席者数 委任状数一五二
会員数 二七九名

第四号 平成四年年度活動報告
第五号 平成四年度収支・決算報告及び監査報告
第六号 平成五年年度活動計画案
第七号 平成五年年度収支・予算案
第八号 平成五年年度活動計画案
第九号 平成五年年度収支・予算案

決議事項と結果
第一号 平成四年年度活動報告
第二号 平成四年年度収支・決算報告及び監査
第三号 平成四年年度活動報告

以上八件の議案は、いずれも賛成多数で原案通り可決・承認されました。（それぞれの議案は別掲）

恩 考 賦 彙 歌 で す か

講演会に出席して

支部総会終了後、清水義夫先生をお迎えして「私のいつていることはうそである」という一風変わった演題の講演会が開催されました。

信頼関係がなかなか結び難い人の世にあつて、「私のいつていることは本当です」と主張したいのが常であるにも拘らず「私のいつていることはうそである」と正々堂々と開き直られると、実のところ常時迷いの中にいる者にとつては、その意外性に対する驚きと共に「それが本当なのだ」とつい乗ってしま

ところが、先生のお話をご専門の記号論理学で難解この上なく、証明の部分は私の理解力をはるかに超える内容でした。この上は証明の理解は諦めて、せめて先生が哲学的にどのような結論づけられるかを把握しようと努めました。

両者を私的に解釈しますと、より良い知の獲得のためには、「物事を断定的に思考してはならない」、また「視野は可能な限り広く取らなければならぬ」という重要な指針ではなからうかと拝聴しました。懇親会では記号を日常語に代えていただき、先生の持ち前の好奇心も手伝って懇談が大変弾み、和やかな一時を過ごすことができました。

Q 生

ります。インパクトがこの演題にはあります。

「ゲーデル・不完全性定理」吉永良正著により「理性の限界の発見者は理性の限界を見据え、そこから出発し、つねに自らの限界を超えていく、有限的存在としての人間の無限の知の可能性をも指し示してしま

平成4年度活動報告

(平成4年4月1日~平成5年3月31日)

1. 諸活動

活動名	年月日	備考
① 第3回支部総会	平成4年6月14日(日)	会員数221名、出席者33名、委任状106通
② 講演会	平成4年6月14日(日)	講師・日本フォスター・プラン協会後藤みどり氏、 演題「国際貢献について」
③ 会報「波濤」の発行	平成4年9月 9日 平成5年2月26日	第4号 第5号
④ 放送大学本部施設の見学会	平成4年10月6日(火)	放送局・製作スタジオ・学習センター・セミナーハウス 図書館の見学、出席者13名
⑤ 座談会	平成4年11月1日(日)	相模福祉村理事長、赤間一之氏を囲んで、 テーマ「福祉と行政」出席者33名
⑥ フォスター・プランへの参加活動	(平成4年3月1日、9月1日より各人へ支援開始)	フォスター・チャイルド2名(グアテマラのピラルちゃん、タイのソムチャイ君)

< 第5号議案 >

平成5年度活動計画(案)

- I 会員相互の親睦
 - 1 定例活動
 - (1) 会報「波濤」の発行 (年2回予定)
- II 社会への貢献
 - 1 国際貢献
 - (1) フォスター・プランへの参加活動
- III 学習活動
 - 1 生涯学習
 - (1) 講演会の開催
 - (2) 座談会の開催
 - (3) 施設見学
- IV その他

2. 役員会

回数	年月日	主な検討事項
第1回	平成4年4月12日(日)	支部総会、フォスター・プラン他
第2回	4月25日(土)	支部総会、次期役員選出、平成5年度活動計画他
第3回	5月31日(日)	本部総会報告、支部総会議案、新役員、講演会他
第4回	7月 4日(土)	新役員自己紹介、総会議事録の確認、役員会の運営、活動計画他
第5回	8月30日(日)	フォスター・チャイルド1名追加、波濤4号、本学見学会、座談会他
第6回	10月11日(日)	波濤第4号、座談会準備、卒業式(本部行事)の分担作業他
第7回	12月13日(日)	フォスター・チャイルド追加手続き、支部連絡協議会の結成、 ニューイヤーパーティ
第8回	平成5年2月14日(日)	本部総会、フォスター・プラン、波濤第5号、支部総会、講演会テーマ他

< 第2号議案 >

平成4年度 収支決算報告

(平成4年4月1日~平成5年3月31日)

(金額単位: 円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
1. 収入の部				
(1) 繰越金	417,411	417,411	0	平成3年度分より
(2) 本部助成金	100,000	126,000	26,000	H4/4~H5/3迄2,000円
(3) 寄付金	70,000	57,782	▲12,218	16名 ×63名
(4) 利息	10,000	5,295	▲4,705	
(5) 雑収入	2,589	0	▲2,589	
合 計	600,000	606,488	6,488	
2. 支出の部				
(1) 活動費	(100,000)	(98,662)	(1,338)	
会報費	5,000	9,080	▲4,080	用紙代等
会員名簿費	5,000	0	5,000	用紙代等
活動運営費	90,000	89,582	418	講演料、及びF.P.援助費
(2) 事務局 運営費	(246,000)	(178,833)	(67,167)	
会議費	6,000	8,639	▲2,639	議事録コピー代
交通費	100,000	59,840	40,160	H4年度旅費規則に基づく
通信費	80,000	83,377	▲3,377	切手、ハガキ代(總會・会報)
振替手数料	0	110	▲110	本部へ同窓会費振込
消耗品費	10,000	4,471	5,529	ハサミ、クリップ等
交際費	10,000	16,077	▲6,077	事務所へ菓子折り等
慶弔費	10,000	0	10,000	
外注費	20,000	6,319	13,681	写真代
備品費	0	0	0	
雑費	10,000	0	10,000	
合 計	346,000	277,495	68,505	
収支差引残高	254,000	328,993	74,993	

現在高 328,993円 (但し、収支差引残高は平成5年度収支予算に繰り入れ)

< 第7号議案 >
平成5年度 フォスター・プラン
活動計画 (案)
 (平成5年4月1日～平成6年3月31日)

- ・チャイルドをもう一人増やす(計3名に)
- ・基金として18万円確保する
(6万円×3人×1年分)
- ・広報活動の推進(手紙・パネル等展示)
- ・チャイルド母国大使館等外部機関との情報交換

< 第8号議案 >
平成5年度 フォスター・プラン
収支予算 (案)
 (平成5年4月1日～平成6年3月31日)
 (単位：円)

科目	予算額	摘要
I. 収入の部		
(1) 前年度より繰越	272,134	
(2) 寄付	250,000	
(3) 支部会計援助金	60,000	
(4) 預金利息	2,066	
収入合計	584,200	
II. 支出の部		
(1) 援助金	180,000	チャイルド3人分
(2) 事務費	10,000	
(3) 通信費	10,000	
(4) 援助金基金	180,000	郵便局定額預金
(5) 予備費	204,200	
支出合計	584,200	
収支差引残高	0	

会 理	平成5年度	本部役員
	長	敏明
	事	佐枝子・星 礼子
	増子	和子・龍造寺 寛

会 副 事 務 局 計 事 監 理	平成5年度	支部役員
	長	加藤 あいし
	副	稲葉 恒夫・近藤 武志
	事	五十嵐 一成・片山 洋子
	務	小山佐 枝子・坂本 春江
	局	奥村 高志・那須 美津子
	計	岩間 吉男・大塚 徳江・大貫 京子
	事	倉田 スヨ子・松岡 和正・南 宏
	監	小川 みのり・窪 潤・龍造寺 寛
	理	

< 第3号議案 >
平成4年度 フォスター・プラン活動報告
 (平成4年4月1日～平成5年3月31日)

- 平成4年6月14日 第4回実行委員会開催
 7月14日 フォスター・プラン参加活動を「大学の窓」で紹介するため、実行委員4名がテレビラジオで収録。(7月25日～31日まで「大学の窓」で放送)
- 24日 ピラールちゃんから絵が送られてきた。
 26日 第5回実行委員会開催
 ・チャイルドをもう一人増やす。(計2名に)
 ・実行委員会代表が別所敏明氏から船業恒夫氏に代わる。
 ・会報「波濤」第4号に寄付者の名前を掲載し振込み用紙を同封
- 28日 第2番目のチャイルドの援助金の第1回振込み。
 8月13日 フォスター・プラン協会からチャイルドの紹介。
 名前:ソムチャイ 国:タイ 年令:7才 性別:男
- 9月1日 ソムチャイ君への援助が始まる。
 10月19日 ピラールちゃんに2回目の手紙をだす。
 10月 ソムチャイ君のおじさんから手紙が送られてきた。
 11月1日 第6回実行委員会開催
 ・グアテマラ大使館とのコンタクトについての報告
- 12月 ソムチャイ君から絵が送られて来た。
 平成5年1月 ピラールちゃんとソムチャイ君から手紙が来た。
 2月14日 第7回実行委員会開催
 2月 ソムチャイ君に手紙と実行委員の写真を送る。
 2月26日 会報「波濤」第5号に振込み用紙を同封。

< 第4号議案 >
平成4年度 フォスター・プラン
収支決算報告
 (平成4年4月1日～平成5年3月31日)
 (単位：円)

科目	決算額	摘要
I. 収入の部		
(1) 前年度より繰越し	75,754	
(2) 寄付	251,436	37名(延べ60名)
(3) 支部会計援助費	60,000	
(4) 預金利息	25	郵便貯金
収入合計	387,215	
II. 支出の部		
(1) 援助金	105,000	1年分・1人、9ヵ月分・1人
(2) 事務費	7,134	封筒代、コピー代
(3) 通信費	2,947	切手代
(4) 次年度へ繰越し	272,134	
支出合計	387,215	
収支差引残高	0	

平成5年度 収支予算(案)
(平成5年4月1日～平成6年3月31日)

(金額単位 : 円)



第五号の会報で書いていた大垣昌枝さんより「日本心理学会認定心理士に認定されました。卒業生にとつて強い励みになります。大垣さんの今後の活躍をお祈りいたします。」

科 目	予算額	備 考
1. 収入の部		
(1) 繰越金	328,993	平成4年度より
(2) 本部助成金	100,000	H5/4月1日～H6/3月31日迄の
(3) 寄付金	70,000	2,000円×50名
(4) 利息	6,000	
(5) 雑収入	5,007	
合 計	510,000	
2. 支出の部		
(1) 活動費	(100,000)	用紙代等
会報費	10,000	
会員名簿費	0	
活動運営費	90,000	講演料及びフォスタープラン援助費
(2) 事務局運営費	(240,000)	
会議費	10,000	議事録コピー代
交通費	100,000	旅費規則に基づく
通信費	90,000	会報送付年2回(300名×72円)43,200
		会員名簿送付 0
		往復ハガキ (300名×82円)24,600
		その他 切手、ハガキ、封筒等
		マジック、ボールペン、クリップ等
消耗品費	5,000	
備品費	0	
交際費	10,000	
慶弔費	10,000	祝電等
外注費	10,000	写真代等
雑費	5,000	
(3) 繰越金(次期)	(170,000)	
合 計	510,000	
収支差引残高	0	

お礼とお願い

★フォスタープラン実行委員会より
フォスタープランへの参加活動は、同窓会神奈川支部の活動の特徴づけるものです。そのためご寄付を、会員の皆様方にお願ひしておりますが、当初より平成五年八月十日現在までに、三九三、一九〇円を頂戴することが出来ました。ここに報告いたしますとともに、深く感謝申し上げます。
お陰さまで、既に二名の子供を援助させていたいただいており(別掲資料参照)その子供達などからの手紙も届いています今年度は更にもう一名増やす計画が立てられました。
つきましては、新会員もおありのこととて、この活動にお心をお寄せ下さいます方々に、ここに改めて援助資金のご寄付をお願ひいたしたく振込み用紙を同封させていただきますました。よろしくお願ひいたします。
※発展途上国の子供達を育成するために、国連経済社会理事會によって公認・登録された特定の宗教・政治に関係のない非営利の民間の国際援助機関。外務省の財団法人に認定されている。

おぼさん キットピークへ行く

(その二)

小山 佐枝子

十二月七日(月)朝から雲一つない快晴、アリゾナ日和りである。八時半各ホテルのレストランで朝食をとる。オレソングジューズがとても美味しい。コーヒーはサーピスよく、カップになみなみといでくれる。味は可もなし不可もなし。バスでサンザビエル伝導所を見学に行く。砂漠の中にちよんとびだした教会で、青い空に白い教会がとてよく似合う。キリスト教が、ここの原住民であるインディアンに浸透していったのがよくわかる。信仰心の強い人々が建てた教会だけあって、広く、高いドームの屋根、中に入ってみて、神の存在のありがたさが感じられる内部の作りである。観光客用に流されているテープが何を言っているのかはわからないが、せつかくの内部の荘厳さが、テープの音でかきけされたのは残念であった。

次にアリゾナ砂漠博物館へ行く。大きな割箸をつたてたようなサボテンの平原の中の博物館である。へび、とかげ、くも等、このアリゾナ砂漠に住む昆虫等が展示してあるのだが、それらが一番嫌いな私はそばによって見ることができず二メートル以上離れてこわごわ通っただけであった。

年後からアリゾナ大学校内にある州立博物館をみる。民族博物館で、ナバホインディアン達が使った、土器や住まいの模型、衣服などが展示されていた。みやげ品コーナーでは、本物のインディアン

の作った飾りの壺や皿などが、かなり高い値段で売られていた。私たちは校内の生協に行き、お土産にTシャツやトレーナー、文房具などを選ぶのに夢中になった。キャンパスの中を自由に歩くことができ、日本の大学とはかなりの違いを感じた。また、お金と能力があったら、この大学で勉強できたら素晴らしいなあと思ひ、うらやましく若い学生達を見てしまった。

今日の見学で、最後のコースであるフランドロッププラネタリウムに行く。心待ちにしていたのに月曜日のため休み何ということか! かるうじておみやげコーナーだけあいていたのだが、何もほしいものがない。銀河系の絵柄のついたTシャツだけを買った。

前夜泊まったプラザホテルに戻ってから解散。みんな観光マップを見ながら食事をしていったり、ぶらぶら街を見ながらかけた。夜は自己紹介だけのミーティングがあり、どおいうわけか私がつりをとることになり、飲みながらのミーティングだったので話がかなりはずんだ。いい気分です。部屋に戻り、日本ではダブルベッドになる大きさのシングルベッドにもぐりこんだ。



十二月八日(火)今日も快晴、そして待望のキットピーク国立天文台を見学できる日。朝からカメラ二台にフィルムを入れ万全を期した。バスの中から、遠く憧れのドームが見えてきたとき、私の心臓はドキドキしてきた。周知のとおり、アリゾナ州南部のこの辺一帯は昔からパコインディアンから土地を借りて、この天文台を作ったのである。標高二一〇〇メートルの頂上一帯に、一ダース以上の望遠鏡が活躍している。この世界最大規模の天文台は、現代天文学の最前線の一つである。小尾先生が事前に手紙をだしておいてくださったので、すぐにガイド専門の係員が来てくれた。通訳は先生がしてくださったので、とてもわかりやすかった。しかし、学生の中には天文台に興味のない人もいて、もっぱらハンサムな係員にみとれて、一緒に写真を撮ったり、そばをはなれなかつたり、学習どころではない人もいたが、まあ堅いことは言わず、それもいいことなのだろう。メインの四メートル反射望遠鏡のドーム内には一般の見学者は入れずガラス越しに見学するしかないのだが、私達はドーム内に入れてもらい、実際にドームが大きなゴーという音とともに、左右に動くのを見せてもらった。また、コントロールルームの中に入って、研究者達が観測する様子を見せてもらった。暖かい部屋でコンピュータのボタンを動かすこと、ディスプレイを見ながら観測すること、

まさに現代の最先端であることを感じた。次にソーラーテレスコープを見にいったが、世界一とあって光を導き入れる巨大な鏡筒の中にレールがひいてあり、地下深く光を受ける反射鏡が置いてあった。カメラ二台のフィルムを全部撮ってしまふほどシャッターをきいたのだが、この感動を日本のみんなに伝えられるか心配であった。しかし、もつと心配なことがおきてしまった。写真を撮るのに夢中になり、またもや迷子になってしまった。広いキットピークなので、パーキングがどこにあるのかわからなくなってしまう。誰かに聞こうにも人が通らない。うろろして、やっとバスに戻った時には出発の時間ぎりぎりであった。

あつという間にキットピーク見学が終わりバスは、フラッグスタフへ向かった。フラッグスタフは、東京から京都以上の距離にあり、バスはただ走り続けた。途中、タイヤがパンクするアクシデントがおき、バスを乗り換えることはあったが、(まさか私のせいではないと思うのだが)後は無事に走り続けた。バスの中で寝ようと思ったが、お元気な小尾先生は天文の講義をしてくださり、学生諸君は寝られず、わかってもわからなくともちゃんと聞いていた(これはエライ)私は奥の席なので時々寝て、時々聞いていた。バスはノンストップで走り続けた。信号機があるわけではなく、対向車もなく、前も後も車がない。広いアリゾナ砂漠を、私達のバスだけが走っていた。そのうえ、道路灯や街灯もなく、真つ暗な道を見るだけだった。ここで感動!外を見ると地平線に白鳥座、いるか座が沈

んでいくのが見える。反対側の窓を見るとオリオン座が昇ってくるではないか。地平線からポコッと星が出てくる。右と左に、冬の星座と夏の星座を一度に見ることができたのだ。横浜にいては絶対見ることができないので、私は一人興奮していた。十時を過ぎてから、やっとバスはフラッグスタフへ着いた。ホテルのレストランはもう終わっていたので街の開いているレストランを捜して遅い夕食をとることができた。ここでも、オーダーしやすいのでステーキを食べる。いままで二人部屋だったのが、今夜からシングルルームへ入ることになり、一人のんびり寝ることができた。シングルルームと言っても、大きなダブルベッドが一つあり、その上に枕が三つも置いてあった。これはどお言うわけなのだろう・・・?

つづく

編集後記

涼しい夏が終わり、楽しい秋の到来です。皆さんの秋は何の秋でしょうか？
今回の会報は、総会資料が大半を占めてしまいましたが、次回はまた卒業後の活動等、会員の方々の声をお届けできればと思っております。
多くの方のご投稿をお待ちしています。

★同窓会神奈川支部 会計より
同窓会の皆様如何お過ごしでしょうか
いつも同窓会へご支援いただきました
誠にありがとうございます。今期の七月
末日までにご寄付いただきましたご報告
をさせていただきます。
平成五年四月一日〜七月三十一日
合計金額 六五、九六〇
今後とも宜しくご支援下さいますよう
お願い申し上げます。

